

無線のストレスを少しでも解消 「何でも一歩ずつ良い方向へ」

第2回 団体交渉

2017年10月26日(木)11時より本社101号室において第2回団体交渉を行いました。
経営側からは伊藤次長、徳山課長、志鎌課長、大貫課長が出席し、執行部は6名が出席をしました。

経営側は「現行維持」回答 賃金・労働条件改善に向け交渉スタート

伊藤次長より、「2018年度出番表」「三笠山」以外は現行維持との回答がありました。
(執行部) 9月23日の補償問題についてはどうなっていますか？

(経営側) 本社と日交との交渉が終わっていないのでまだ回答できませんが、時間補償は全てしています。

(執行部) スタッドレスタイヤについて、昨年の雪では4本装着したことにより売り上げも8万平均と高く、お客様からも感謝されました。公共交通機関の役割を果たすため今年の準備と確保をして頂きたい。

(経営側) 今年分の本数については調査し、安全衛生委員会でも報告をします。これから徐々にジャパンタクシーが導入され、入れ替えとなるので全台分というのは難しい。

(執行部) 駐車棟の照明はLEDの工事は終わっているようですが、1・2階の部分は乗務員が暗くて困っているのので吊り下げにするよう要求を出しています。早急に検討して下さい。

(経営側) 本社総務に確認します。

(執行部) 「吐しゃ物」の補償については？

(経営側) 現在、一時帰庫する場合は高速代は出しています。シートごと交換するならば10分で終わります。状況がそれぞれ違うので、補償というのは難しい。

(執行部) 修理手当も現場から連絡し、帰庫する時間からカウントしています。10分で交換しても帰庫の時間のロスがあることは事実です。カバーだけなら現場で外したまま営業させるなど条件を定めれば良いと思います。

このところ機器の不具合による乗務員のストレスは計り知れません。「白タク合法化」を経営側も一体となっ

て阻止しなければいけない中、無線トラブルから回送で走っているタクシーを多く見かけます。
これでは、お客様から信頼されなくなり、ライドシェアに入る隙間を与えてしまいます。会社としての指導も大切ですが、乗務員のストレスを少しでも解消し、責任を果たすようにするには、不具合に対し「どう補償するか」ということを真剣に考えて頂きたい。
(経営側) 検討します。



次回は11月後半に交渉を行います。

白タクの危険性を利用者に広めよう

全自交労連 第73回定期大会

2017年10月17日・18日の2日間、御茶ノ水の全電通会館において第73回全自交労連定期大会が開催されました。東洋交通労組からは2日間で30名動員し、A出番から9名、B出番から9名の組合員が参加しました。



再任した伊藤実中央執行委員長は、「白タク・ライドシェア問題」について、政府の規制改革推進会議が東京オリンピックに向けた具体的テーマに挙げている「タクシー等の新たな輸送サービス実現」の「タクシー等」がライドシェアを想定しているのは明らかであるとして、議論の行方に警戒心を示しました。
ソフトバンクによる1兆円の出資報道や、「ジャスタビ」「ノッテコ」などの新たな白タク類似行為が、経産省のグレーゾーン解消制度の中で認められたことにも触れ、

「ライドシェア絶対阻止！」 タクシー産業の 社会的地位向上を目指して

全自交東京地連 第120回定期大会



2017年10月31日新宿区の角筈区民ホールにて、全自交東京地連第120回定期大会が開催されました。東洋交通労組からは執行部6名と5名の組合員

が参加をしました。大会では「白タク合法化阻止」「適正化・活性化の推進」など2017年運動方針を承認され、溝上委員長の挨拶では「ハイタク業界は先行き不透明だが、ライドシェアは絶対に阻止しなければならぬ。全タク連が11項目のタクシー活性化策を打ち出し、1月に導入された初乗り距離短縮運賃では利用客が増加したなどと報道されているが、地連のアンケートでは回数が増えたり売上げが上がらないとの声は多い。更に事前確定運賃・相乗り運賃などの実証実験が控えているが、導入に当たっては問題があることを指定し、業界の悪い慣習を変える働き方を求めていきたい。また、タクシー乗務員の労働条件改善には『タクシー事業法』が必要である」と述べました。



「協力・義務」を要求するなら
経営側も義務を果たすべき!

第3回 団体交渉

10月17日14時30分から本社101号室において第3回団体交渉が行われました。

第2回の交渉から進展はなく、経営側からは「三笠山」「2018年度出番表」以外は現状維持という回答がありました。

(経営側) 嘱託の基本給引き上げについては近々、賃金検討委員会もあるので、その時に話し合いをしていきたいと考えています。

(組合側) 早急に行いたいと思いますので、12月の給料までのデータが出た時点で日程を決めて下さい。スタッドレスタイヤの本数は確認をしましたか？

(経営側) ジャパンタクシーの代替えもあるので、少しずつ増やしたいと考えています。

(組合側) 雪の日に乗務員が全員出勤し、公共交通機関の役割を果たせるよう準備を進めて下さい。

(経営側) 無線の「空転補償」については、先日、53万3千件と過去最高の配車実績となりました。最近「優先予約」のキャンセル料をお客様から頂けるようになり、お客様都合の空転が減れば乗務員の負担もなくなるかと考えているので現状維持でお願いします。

(組合側) キャンセル料を頂けるのであれば補償できるのではないですか？

(経営側) キャンセル料はJTXに入るので乗務員に払うことはできません。

(組合側) 現場の乗務員達が動いているのにJTXにキャンセル料が入るといのはおかしいことです。無線に対し乗務員に「協力」や「義務」だと言うなら、会社もそれに対し義務を果たすべきです。無線センターに対し、キャンセル料は乗務員に入るよう申し入れをして下さい。

優勝!

日交労赤羽支部 主催

ソフトボール大会

2017年11月8日(水) 小雨混じりの天候の中、日交労赤羽支部主催ソフトボール大会が開催され、東洋交通労働組合からも、2チームが参加しました。結果、「東洋交通Aチーム」が優勝し、「東洋交通Bチーム」が準優勝と、とても良い結果で終える事が出来ました。

- 優勝 東洋Aチーム
- 準優勝 東洋Bチーム
- 3位 赤羽新卒チーム

あいにくの天気でしたが、懇親を深めるよい大会でした。優勝おめでとうございます!



見事、優勝した「東洋交通Aチーム」



残念ながら、準優勝「東洋交通Bチーム」

全自交労連 第45回『機関紙コンクール』

東洋交通労働組合の「躍進」が佳作に選ばれました。

賞状

敢闘賞
「U-LINK」
東洋交通労働組合 殿

貴組織は全自交労連第45回機関紙コンクールにおいて頭書のおり優秀な成績をおさめられました。その功績を讃え記念品を贈呈しここに表彰します。

2017年10月17日

全国自動車交通労働組合連合会
中央執行委員長 伊藤 実

東洋交通労働組合の「U-LINK」は敢闘賞に選ばれました。

賞状

佳作
「躍進」
東洋交通労働組合 殿

貴組織は全自交労連第45回機関紙コンクールにおいて頭書のおり優秀な成績をおさめられました。その功績を讃え記念品を贈呈しここに表彰します。

2017年10月17日

全国自動車交通労働組合連合会
中央執行委員長 伊藤 実

訃報

17年間にわたり、東洋交通乗務員を務め、組合活動に多大なる御協力力頂いてきた、組合員の「故 田代末一さん」が、急逝されました。69歳7か月。4月の誕生日で退職になる矢先の訃報...とても信じる事が出来ませんでした。

優しい笑顔と、あの歌声が聞こえてくるようです。長い間、ありがとうございます。安らかに眠り下さい。

